

令和4年度区・自治会デジタル化推進モデル事業

山手東自治会、スマホアプリ「結ネット」の活用による地域内の情報共有と災害時の安否確認への活用事業

事業実施報告

2023年2月25日

山手東自治連合会

山手東自治会会長 森本亮造

本日の報告内容

1. なぜこの事業を実施しようと考えたのか
2. 具体的にどのようなことをするのか
3. 事業を通してどのような効果が期待できるか
4. 事業実施結果
5. 今後の展開
- (6. 参考資料)

1. なぜこの事業を実施しようと考えたのか

① コロナ禍で活動の自粛・中止が相次ぎ、一部の住民には回覧板の回覧に難色を示され、**これからの地域活動の維持には、ソーシャルディスタンスを保つデジタル化が必須だと感じていたときに「結ネット」**を知りました。

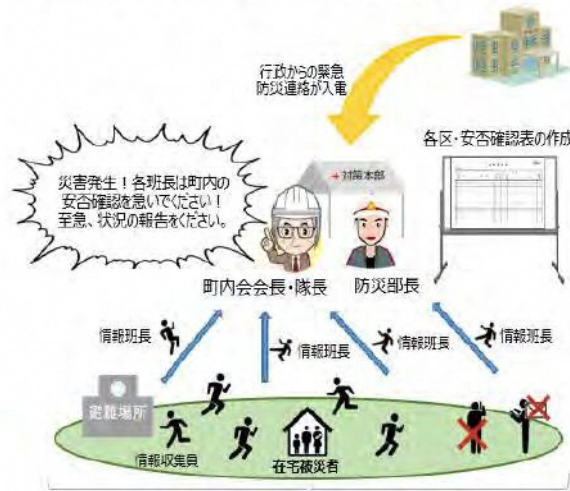
② これまで人海戦術で考えていた災害時の安否確認を、デジタル化することで、**ソーシャルディスタンスを保ち、2次災害を防ぎ、より効果的な人命救助につなげられるのではないかと考えました。**

11. 結ネットの災害時機能

◆ インターネットとスマホや携帯の活用で、迅速かつ合理的な安否確認を実施

【今までは】

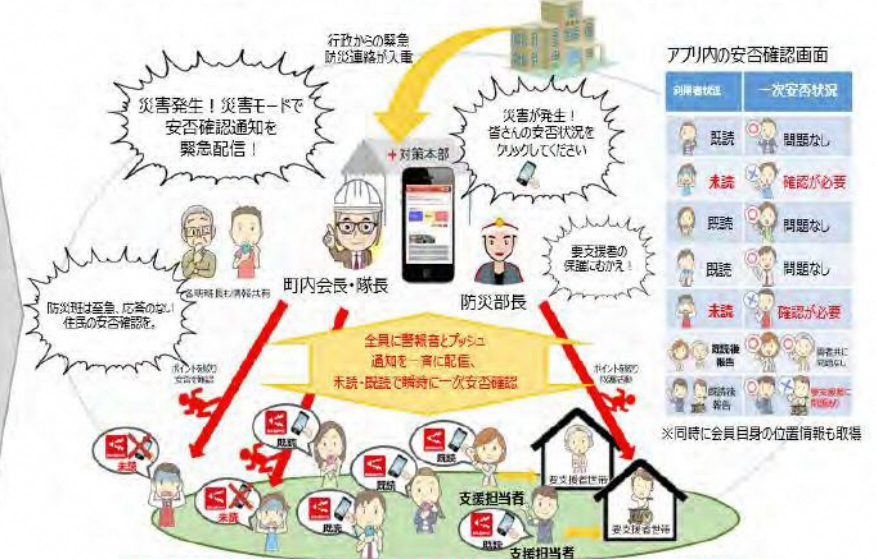
自治会内の安否確認や情報伝達は、主に人海戦術で行う。
災害時には、電話は規制が入り、つながりにくい状況となる可能性大。



町内会内は人づてで、状況確認、情報伝達
⇒ 現実的に時間と労力が相当必要
⇒ 「誤認」や「噂」で錯綜、混乱の可能性大

【これからは】

最も災害に強いと言われるインターネット網を利用。1対多でリアルタイムに町全体の安否状況を一目で確認できる。
緊急対応が必要なところもピンポイントで絞り込むことができるため、最善の災害時行動に誘導することができる。



※統計データによると家屋倒壊などの災害において、発生から72時間が経過すると生存確率が急激に低下するとされており、まさに時間との勝負になると言われています。

2. 具体的にどのようなことをするのか

クラウド型ポータルサービス「結ネット（ゆいねっと）」を利用して、

①災害発生時の安否確認の効率化と役員の負担軽減のためアプリ「結ネット」での安否情報収集が、現有の安否確認情報伝達手段を、どの程度代替となりうるかの確認

②会員からの意見聴取のデジタル集計の可能性確認

安否確認訓練実施要領

①安否確認依頼の発報

山手東自主防災会（自治会長）から結ネットアプリ(以下、アプリ)上で安否確認を依頼します。時間は、2022年12月4日(日) 10:00頃を予定しています。

②安否の回答<<皆さんに実施いただく事>>

災害時通知音とともにアプリ画面が自動的に安否確認画面に切り替わります。
下記要領で安否を回答してください。



③アンケートへの回答<<皆さんに実施いただく事>>

安否確認訓練終了後、アプリ上でアンケートを行いますので**下記要領で回答をお願いします。**
※通知音とともに「最新情報」のページにアンケート依頼が届きます。アンケート依頼をタップし、アンケート回答に進んでください。



3. 事業を通してどのような効果が期待できるか

●下記の項目の「**可能性**」が確認出来る

①災害時安否確認での人海戦術の是正

②どこからでも見られる掲示板

③ハンコ不要、回さない回覧版

④聞いた・聞いていないといった情報格差の是正

⑤関係他機関との情報共有の容易さ

4. 事業実施結果 1 (訓練実施結果)

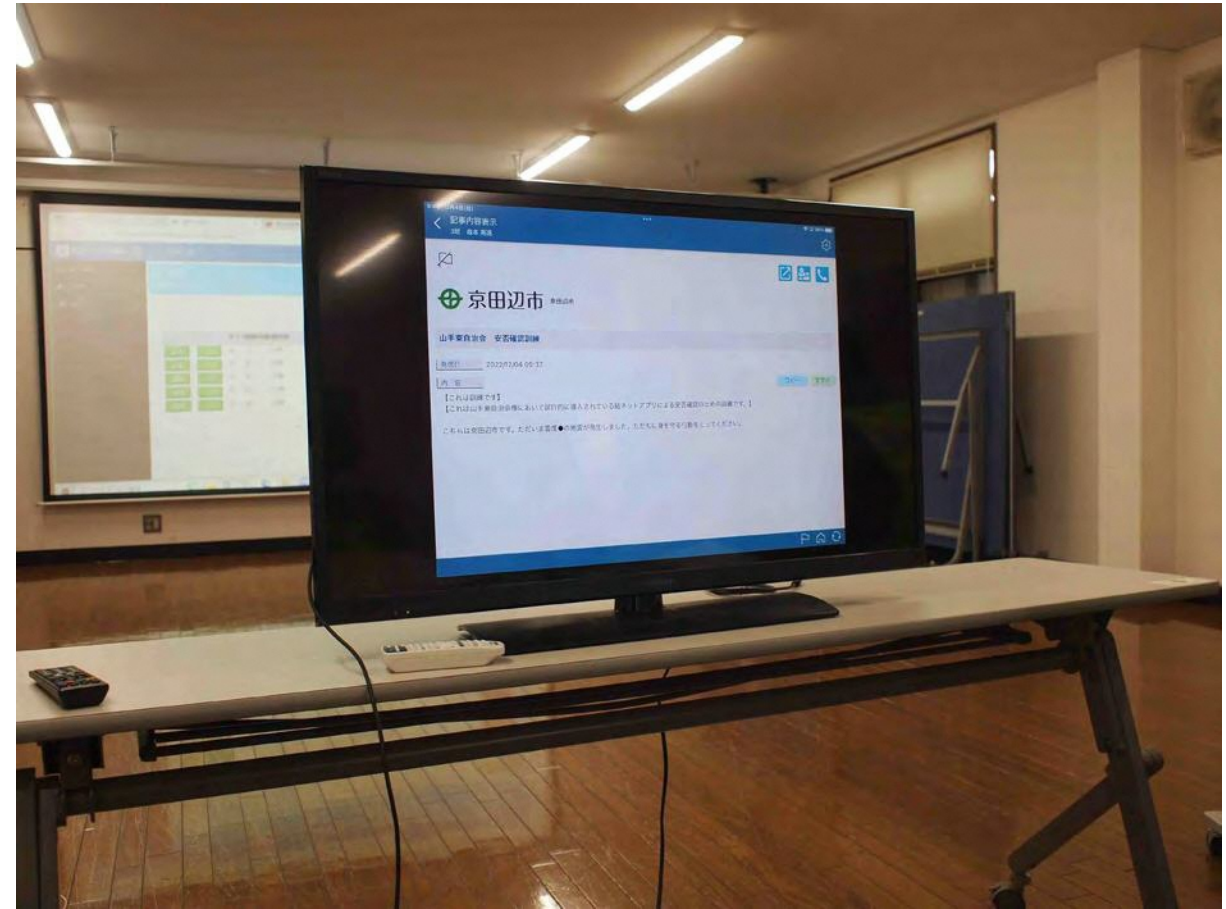
- 会員の総世帯数：608
- 訓練参加登録世帯数：442
(総世帯数の72.7%)
- 訓練参加人数：691人
- 安否回答者数タイムライン
 - 10:01 結ネット発令
 - 10:15、244人
 - 10:20、263人
 - 10:30、284人
 - 11:00、319人
 - 11:28、341人
 - 12:06、374人 (訓練終了)

- **訓練総括**
 個らで明収と
 がな間証報る
 長ば時が情き
 班れ短事否で
 けなる安減
 後なう来る削
 災らよ出よに
 発回か集に幅
 ば、り、収会大
 り走るが治をた。
 らにこ報自力し
 な認と情、労ま
 来確い否来のじ
 本別な安出集感
- 訓練後、け「こんなるこく「てと期、繋くと
 誰かた出に的れ
 が、が来情にる
 ・、れ報、の
 ・、早ばを早か
 ・、期、繋くと
 ・、い、に、そ、ぐ、思
 ・、お、否、た、と、確、て
 ・、ん、れ、う、安、れ、こ、的、っ
 ・、こ、く、い、に、そ、ぐ、思
 ・、を、る、頂、の、く、来、援、ま
 ・、し、き、収、支、を、す。
 ・、も、し、が、先、果、ら
 ・、ま、集、援、結、得、ら

4. 事業実施結果2 (訓練実施状況の様子)

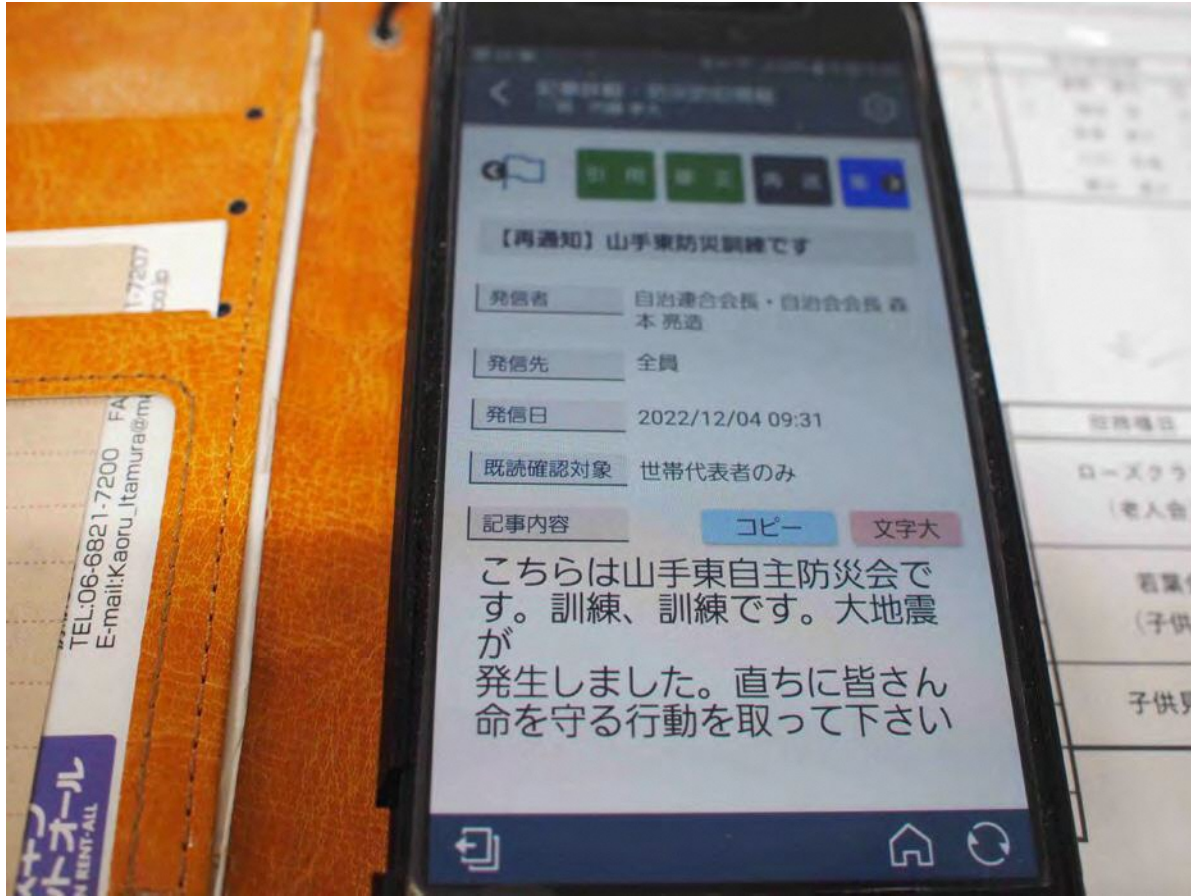


自主防災本部の様子 (安否確認訓練時)



情報表示画面

4. 事業実施結果3 (訓練実施状況の様子)

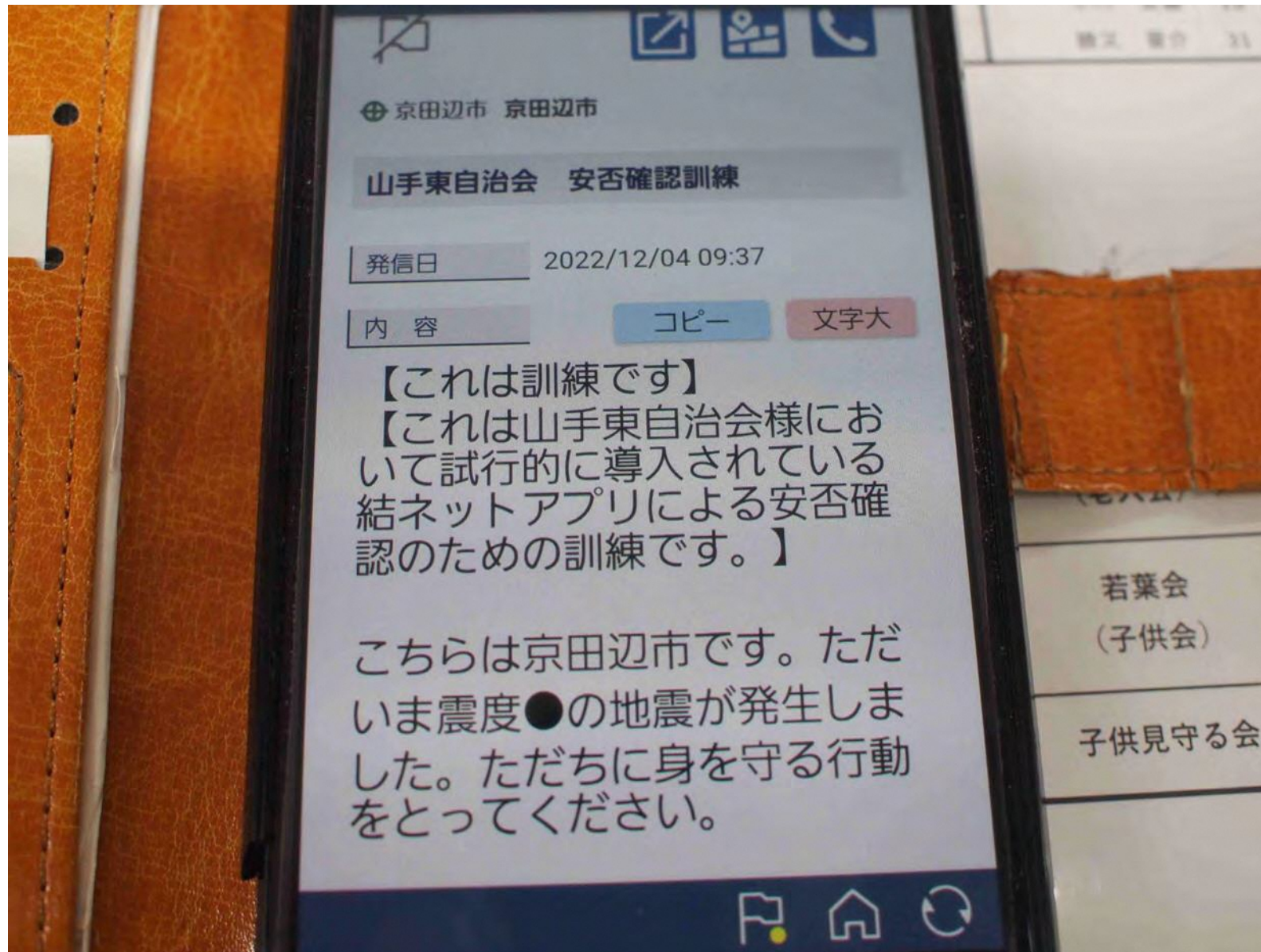


安否確認依頼を発信



安否回答状況を地図への落とし込み

市との情報共有のテストも行いました。



4. 事業実施結果 4 (実施後のアンケート結果)

(訓練の1週間後、12月11日時点での回答結果)

質問項目	はい	いいえ	未回答	アンケート 総数
Q1. 安否回答はスムーズに実施できましたか？	201	35	239	475
Q2. アプリによる安否確認は便利だと感じられましたか？	218	18	239	475
Q3. 今後、山手東自治会でもアプリを用いた安否確認方法を導入していくべきだと思いますか？	211	25	239	475
Q4. 今後、山手東自治会でも安否確認だけでなく、アプリを用いた電子回覧板等を導入していくべきだと思いますか？	190	46	239	475

* アンケート集計は、訓練の1週間後の結果。

* アプリ利用は、おおむね好意的に受け止めていただいていると思われる。

* 訓練参加人数とアンケート総数の差は、安否確認訓練は、世帯代表者だけでなく、世帯居住者も参加されるが、アンケートは世帯代表者のみに発信している為。

事業にての購入機材：iPadとキーボード



5. 今後の展開

- アンケートによれば、アプリ利用は、自治会員におおむね好意的に受け止められているので、アンケート調査で指摘を頂いた内容の改善に努め、市の自主防災会への助成金を活用しながら、自治会でも応分の費用を負担し、
 - ① **アプリを利用した安否確認訓練を実施**
 - ② **電子回覧板**
 - ③ **役員・班長間での連絡・情報共有**
 - ④ **公民館の利用状況表示**を試行していきたいと思っております。

6. 参考資料

① 「結ネット」 概要説明ビデオ

<https://youtu.be/Z9fg24jjw8c>

② 他所での安否確認訓練ビデオ

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20220904/3060011307.html>